

2019
MCPC
award

特別賞

株式会社NTTドコモ

[ecobuy]

消費／賞味期限間近の食品をアプリで紹介、ロスを低減

食料品を販売する店舗では、消費／賞味期限を過ぎてしまった商品は廃棄せざるを得ず、食品ロスが社会課題となっている。国内で発生する食品ロスは年間646万トンといわれる。

課題解決に寄与するサービスが

NTTドコモの「ecobuy」である。

消費者には「ecobuy」アプリを提供する。消費／賞味期限が近い食品を購入した消費者は、スマホのアプリでレシートと期限情報を読み取ることで、ポイントがもらえる仕組みだ。

にも管理システムを提供し、より売り切るために、在庫状況に応じて「おすすめ配信」等ができるようにした。

実証実験を行った店舗では、スタッフによる値引きシール貼り付けなどの作業時間が削減された。さらに、ユーザーの90%が「食品ロス削減への意識が変わった」、88%が「継続して利用したい」と回答しており、消費者側にも付加価値を提供することができた。

当システムは自治体との連携により、消費者への食品ロス削減行動に対する報酬や表彰なども提供が可能であり、持続可能な社会づくりへの貢献が期待される。

図 ecobuy が目指すもの



さらに期限の残日数が1日前になるとアプリでプッシュ通知を行う。消費者は、ポイントを得つつ、食品ロスの削減を応援できる。

店舗スタッフ